海外安全対策情報（2025 年 1 月～3 月）

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

１　社会・治安情報

（１）2 月末、ボスニア・ヘルツェゴビナ裁判所第一審で、セルビア系を中心としたエンティティであるスルプスカ共和国（ＲＳ）の大統領に対する有罪判決が下され、また 3 月半ばには、同大統領ほかＲＳ首相、同国民議会議長の 3 名が指名手配されたことから、治安が悪化することも懸念されましたが、3 月末時点では、治安情勢は概ね安定しています。

（２）引き続き、警察当局によって全国的に大がかりな組織犯罪に関する取り締まりが度々実施され、多くの薬物や武器が押収されました。

２　一般犯罪・凶悪犯罪事案

サラエボ市内では、1 月に 1 件の銃を用いた事件が報じられています。

３　日本人が被害に巻き込まれた事案

2 月、サラエボ空港からサラエボ市内旧市街に向かうバスの車中で、観光で当地を訪問していた日本人が 3 人の女性から話しかけられ、その間にバックから旅券を盗まれる事案がありました。

４　テロ・爆弾事件発生状況

（１）1 月、サラエボ市内のカフェで、手りゅう弾が投げ込まれ爆破事件するがあり、建物に被害が出ました。また、3 月にも、サラエボ近郊の遊園地施設に手りゅう弾が投げ込まれ、爆破する事件がありましたが、深夜であったこともあり、負傷者は出ませんでした。

（２）2 月、サラエボ市内のカントン（県）政府建物に対し、爆破予告があり、建物に居た人々が一時退避しましたが、後に虚偽であることが確認されました。

（３）これまで日本人が被害に遭ったテロ・爆弾事件は認知していません。

５　誘拐・脅迫事件発生状況

日本人が被害に遭った事件は認知していません。

６　日本企業の安全に関わる諸問題

特段の問題は報告されていません。